

○資料3により駐車台数を算定 全体675台 ⇒ うち県施設分台数:613台(グランシップ分:550台、「文化力の拠点」分:63台)

○図書館及び賑わい創出機能の**拡充部分を施設1, 2階に配置することに伴い、施設1, 2階で確保しようとしていた駐車場及び機能拡充に伴い新たに必要となる駐車場は、駐車場棟などで集約して確保**(コスト面での比較結果においても、**駐車場一棟型が有利**)

※駐車1台当たりの面積を、建物構造種別ごと、鉄骨鉄筋コンクリート造は30㎡、鉄骨造は25㎡、平面駐車場は20㎡と想定
 ※1, 2階駐車場配置型は鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)を、駐車場一棟型は鉄骨造を想定

区分	案1-1			案1-2			案2(従来の説明内容)		
	駐車場一棟型(平面駐車場あり)			駐車場一棟型(平面駐車場なし)			1, 2階駐車場配置型		
イメージ									
建物構造(想定)	鉄骨造 (既製品の活用も可能)			鉄骨造 (既製品の活用も可能)			鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) (上層の建物と同一構造となる)		
コスト面	○ 整備単価や駐車場1台あたり面積が最も小さく、全体コストが抑えられる。			○ 整備単価や駐車場1台あたり面積が小さく、全体コストが抑えられる			△ 上層建物に構造を合せる必要があり、整備単価や駐車場1台あたり面積が大きくなり、全体コストが比較的大きくなる		
区分	平面	立体(S造)	計(百万円)	立体(SRC造)	立体(S造)	計(百万円)	立体(SRC造)	立体(S造)	計(百万円)
駐車場整備費(参考)	18	795	813	0	950	950	3,482	474	3,956
台数(県施設)	100台	513台	613台	0台	613台	613台	307台	306台	613台
面積	2,000㎡	12,825㎡	14,825㎡	0㎡	15,325㎡	15,325㎡	9,210㎡	7,650㎡	16,860㎡
1台あたり	20㎡/台	25㎡/台	—	30㎡/台	25㎡/台	—	30㎡/台	25㎡/台	—
参考単価	9千円/㎡	62千円/㎡	—	378千円/㎡	62千円/㎡	—	378千円/㎡	62千円/㎡	—
技術面	○ 一般的な工法であり、技術面のハードルはない			○ 一般的な工法であり、技術面のハードルはない			△ 近接階への騒音・振動の対策や、本体と駐車場の柱スパンが異なることによる平面計画への影響		
景観面	△ ・駅前広場側からの景観への影響は比較的少ない ・4階建ての立体駐車場が想定されることから、緑化の工夫など景観への配慮が必要 ・平面駐車場の確保により、立体駐車場に対する西側の圧迫感が軽減			△ ・駅前広場側からの景観への影響は比較的少ない ・幅が100m程度の3階建ての建物が想定されることから、緑化の工夫など景観への配慮が必要			○ ・立体駐車場が低層であることから、景観への影響は比較的小さい		
総合評価	○ コスト面は最も有利であるが、駐車場棟が圧迫感が大きい無機質な建築とならないよう、景観面への配慮が必要			○ コスト面は有利であるが、駐車場棟が圧迫感が大きい無機質な建築とならないよう、景観面への配慮が必要			△ 景観面での影響は比較的小さいものの、コスト・技術面に課題がある		